

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成26年 4月 1日 ~ 平成28年 3月 31日
3. 業務の範囲	(1) センターの利用に関すること。 (2) センターの維持管理に関すること。 (3) コピー代等の実費の取扱い。 (4) 公共料金の取扱い。 (5) センターの設置目的のために必要な事業に関すること。 (6) その他必要な管理運営業務

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	0 (5)	0 平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 (5)	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		【評価対象外】		0点	
					平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)						
		(1)利用状況(10点)	②利用人数	10 (5)	10 平均値比(注) 105%以上:10(5)点、105%未満~95%:8(4)点、95%未満~85%:6(3)点、85%未満:4~(2~0)点 (5)	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満~95% 4点	まなびパーク内に移転後、利用人数は安定。 市民活動団体の情報提供の支援や職員の現地訪問によって、交流やつながりを増やしている。 図書館や学習館の単独利用者に6階へ誘導できるようまなびパーク施設一体で工夫。「まなパーフェスティバル」、「環境フェア」といった事業にも積極的に参加し、認知度向上に工夫をしている。 登録団体数は166団体(新規18、削除3)、昨年度末151団体から増加し、NPO法人団体の登録が4団体あった。	8点		
					平均値比(%)98.9=利用人数(延べ7,873人)÷上記(2)適用7,961人						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	1.市民活動団体の人材把握、ネットワーク化(ぼるとカフェ:年8回開催87人参加、交流会52人参加) 2.市民活動の情報収集、提供(団体情報更新、新規18団体166団体登録、現地見学132回) 3.市民活動に関する相談(専門相談6回8人、窓口での相談221回) 4.市民活動の活性化に関すること(おもちゃ病院12回開設、コーディネート21回、スキルアップ講座7回) 5.広報活動(センターだより4回発行、広報、ホームページ、市メルマガ、フェイスブックでの情報発信、展示スペースの活用12回、自主・共催事業の情報提供シートの作成26回)	仕様書以上 12点	団体交流会は形式を変え、4団体の活動報告、参加者52名自己紹介、活動アピールと形態を換えたことにより、市民同士の新たなつながりができた。結果、地域包括センター(社会福祉協議会)の研修会で施設や活動を紹介する機会を新たに得た。 同じ中間支援組織である可児NPOセンターと共催でのマイナンバー講座開催をし、他の中間支援組織との連携、交流を始め、市民活動へのヒントやアドバイスを積極的に得る様になった。 「ファシリテーション講座」等ニーズに合った、講座を企画し工夫をしている。	12点			
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	・市民活動啓発講演会 藻谷浩介「消滅可能性都市とは言わせない」3/6 156人参加 ・NPOバスツアー実施(犬山市しみんティ訪問) ・「壁ボラ」(登録団体から寄せられたボランティア情報を壁新聞のように貼り出し募集)での情報発信39回 ・市民活動団体(かがやき世代の会・多治見)(2回)、子育て講演会、みんなの学校上映会、市民団体と共催 ・環境フェア、まなパーフェスティバルへの参加 ・登録団体の情報発信補助(チラシ設置、アドバイス等)46回、会員募集支援	期待以上 12点	市民活動啓発、施設紹介を兼ねての講演会の準備を計画的に進め、好評に終えた。 壁ボラをはじめ、登録団体以外の市民向けに情報発信を行い、より多くの交流機会を設けた。 情報発信の工夫をし、団体との交流を深めた。事業協力者を得ての啓発講演会開催や有志実行委員会の映画上映会を企画実施。	12点			
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通)):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	適正実施	適正(普通) 2点	適正に実施している。		10点	
			②保守・点検			適正実施	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに、適正管理している。			
			③保安・警備			適正実施	適正(普通) 2点	適正に実施している。 つまづきが多い床置きスタンド式案内板からカウンターでの案内表示に切り替え、利用者の安全確保。			
			④小規模修繕			該当なし	適正(普通) 2点	該当なし			
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			適正実施(毎日確認)	適正(普通) 2点	日常業務の中で、随時、危険箇所の点検を行っている。			

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	ファイリングシステムを導入し、適正に管理されている。	適正(普通) 2点	整理整頓がされ、職員共有がされている。	10点
			②環境への配慮			市の環境マネジメントシステムに準じて、(再生紙・裏紙利用、エコ商品の購入、節電)に配慮している。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			③バリアフリー			適正に実施している。(通路の確保、避難経路の確認)	適正(普通) 2点	身体の不自由な人への配慮も心がけている。隣接する放送大学の利用者へも通路確保をし、整理整頓がされている。	
			④備品管理			適正に実施している(協定書どおり)	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			⑤個人情報保護			個人情報も含め、キャビネットに的確に文書保存をし、施錠管理している。登録団体の個人情報公開は、登録シートで必ず確認をしている。	適正(普通) 2点	適正に管理し、個人情報保護に細心を図っている。	
			⑥事故等への対応			0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	
		3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入(5,357,551円)÷支出(5,795,096円)＝92.4%	100%未満 3点	(講座受講料収入等あるが、施設の機能上収支の大幅な増額は期待できない)
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	講座ごとにアンケートを実施。利用者からの意見を職員全員で共有できるよう記録し、市への報告も随時実施	適正(普通) 7点	窓口相談や団体訪問で得た情報をもとに、事業展開、共催事業、アドバイス等を的確に行っている。壁ボラなどボランティア情報の提供、ボランティアを希望する者とボランティア募集团体とのコーディネートを行っている。	7点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし	苦情なし・適正(普通) 4点	施設管理者と共同して対応するよう体制を日頃から整備	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	市民活動団体の現状と課題を分析し、課題への対応として、①団体に関する情報提供及び収集、②スキルアップ講座、③交流(会)を通じてのコーディネート改善。 ・利用者間の交流機会や、市民活動機会の提供及び創出をするために連携を模索 ・市のNPO認証事務権限移譲事務に対する対応を検討 アドバイスをやコーディネートの成果例として、①登録団体訪問で包括支援センター職員が市民活動団体に興味を持った、②新規団体登録時に関連する団体のコーディネートをし、団体活動範囲を拡大した、③登録団体の寄付金を福島の子育て支援団体にスタッフが訪問して届けた、④病院の緩和ケア病棟の創作和紙の展示提案をし、特設コーナーが設置された。 遅れ・不備なし	期待以上 12点	地域の実態把握、市民活動との連携の模索をし、コーディネートの重要性を認識している。団体訪問や壁ボラを通じて、より良い情報提供ができるよう工夫。地元FM、ミニコミ紙等を積極的に活用し、PRに努めている。 職員の研修機会、資質向上にも積極的に進め、他の中間交流支援組織との連携を新たに始め、可児NPOセンターと共催して講座を実施。岐阜県からの権限移譲事務について事務局と管理仕様を検討し、NPO法人の相談窓口にもなるよう実践講座を実施。的確なアドバイスができるよう研修を行っている。	12点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3		遅れ・不備なし 減点なし		0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示などなし・対応等が期待通り	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点
合計					100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下			合計78点
									全体的な評価 市民活動支援の新たな取り組みのための講座の充実、市民活動啓発を目的に講演会を開催し、団体訪問等職員のアイデアが生かされる運営をしている。 市民活動支援の中間支援組織として他の中間支援組織との連携、情報交換を行い、市民活動の人財育成、発掘、情報収集に積極的な姿勢は大変評価できる。